

【平成31年度 第2学期終業式 校長講話】

こんにちは、今年も残すところあと6日となりました。

思えば2学期は、まだ残暑が厳しかった文化祭から始まりました。

そして、今は、吐く息が白く見える冬…。学校の周りの畑にも霜が降りていますね。

改めて、2学期は長いと感じます。

皆さんは、この2学期を日々の学習活動をはじめ、部活動での活躍など、素晴らしい、また、青春の1ページに残る成果を収めてきたと思います。

この後の、各種表彰で、その健闘を皆さんと共に称えたいと思います。

さて、来年1月から大学入試センター試験をはじめとして、3年生の多くが受験を控えています。緊張感や不安と付き合いながら、最後の追い込みをかけていると思います。

でも、決して孤独にはならないでください。

これから、人生の大きな勝負に臨む3年生諸君へ

あなたは決して一人ではありません。

あなたには、毎日、授業に真剣に取り組んだあなた自身が一人、夏の講習で頑張ったあなた自身が一人、模擬試験と格闘したあなた自身が一人、そして自分の将来について担任の先生方と、とことん話し合った真剣な眼差しのあなた自身が一人、今まで汗をかけた沢山のあなた自身がついています。その確かに頑張ったあなた自身一人一人が試験会場にちゃんとついていてくれるのです。決してひとりではありません。

ですから、試験当日は自信を持って臨んでください。

一方、既に進路先が決定した3年生諸君へお願いします。どうか、これから大切な時期を迎える友達を、温かく見守って下さい。自分自身は進路も決まりホッとしているところだと思います。中には開放的な気分になっている人もいるでしょう。でも、友達に対する心遣い、勝負に臨む友達が心穏やかに残りの貴重な勉強時間を過ごすためにはどうしたらいいか、真剣に考えて下さい。これは、親友に対する友情の証です。

宜しくをお願いします。

そんな、思いやりのある、粋な心遣いができる友達は、きっとその先に待っている、喜びも分かち合える、一生の友達になれると私は信じています。

次に、1. 2年生に向けてお話をします。この2学期は、友達との付き合い方、学校の施設・用具を大切にすること、SNSの使い方等について、不用意で、且つ、幼い行動が散見されました。もう少し自分自身の心を豊かに、そして賢くなることが大切だと思います。

個人情報をSNSに載せることについて、

例えば、会社や専門学校が採用試験で面接試験を行う際、面接だけでは、本当の人柄までなかなか分からないことから、ネットで応募者や受験生について検索する会社、学校が少なくないようです。

すると、結構ヒットして、普段の人柄、行いが分かるのだそうです。

会社や専門学校の採用試験で評価が低く、採用しがたい書き込みやメッセージは、

・汚い言葉使い ・疲れた、眠いなどの短文 ・他人の悪口、陰口 ・性的な内容等

また、写真・映像の掲載では、

- ・衣服がだらしないもの
 - ・法令違反行為
 - ・(元) 彼氏、彼女の写真
 - ・いかにもお調子者と受け取られる映像
 - ・性的な内容 等
- の掲載が OUT だそうです。

生徒諸君の中で、ネットになにがしかの情報を UP している人は「自分は別」、「自分
は関係ない。」ということはありません。

個人情報^さを UP している人は、自ら自分のことを世間に広く晒していることに気付い
て下さい。自分のネットの使い方に大きなリスクがあることに十分注意して、慎重に、
適切に利用することを強く望みます。

改めて、3年生で既に大学・専門学校の進学が、推薦等で決まっている人へ、

皆さんは、この時期、全く勉強しないでいると、来年の4月に、来年1～2月も勉強
を継続^つしていた一般入試で合格した人より著しく学力が低下していて、新生活のスター
トで躓くことが少なくありません。

進学先から既に頂いた課題や、授業の復習などに、時には取り組むことで、学力を維
持しておくことをお勧めします。

また、1年生の諸君は、3学期を2年生0学期、2年生の諸君は、3学期を3年生0
学期と位置付けて、進級に向けた自覚を高め、一歩大人に成長してください。

先日、医療・看護系大学の募集担当者をお招きして、教員向け校内研修会が行われま
した。

その中で、論文・面接試験では、出身高校の先入観で採点が行われないう、
採点官、面接官には受験生の高校名は知らせずに、真の実力が計れるようテストが行わ
れているというお話がありました。

その結果、実際、偏差値65の進学校在籍の生徒が不合格で、偏差値42の高校の生
徒が合格した例もあるそうです。

所詮、今、在籍^{しよせん}している高校は、人生、高々^{たかだか}15年間の学力で選んでいるのだと私は
思います。人生100年、と言われはじめた現代、人生駆け出しの一時期、中学校3年
間の結果で、自分はこの程度の学力だなどと、自分を決めつけないでください。

人生は長いです。何がきっかけで、いつ自分の才能が開花するか分かりません。

12月11日、オリンピック・パラリンピック教育講演会の講師、ハンドボール元全
日本代表、佐藤 正和^{まさかず} さんも 仰^{おつや}っていました。

「努力を継続できる人は、立派な才能の持ち主である。」と。

要^{よう}は、高校生活3年間の過ごし方です。心身共に最も成長し、充実するのは16歳か
らです。

縁があって入学した高校で、貴重な3年間で、信念を貫き、一日一日を大切に、努力
を怠らなかつた人が、夢が目標になり、実現へと繋がっていくのです。

今、目の前にいる先生方は、その最大の応援団なのです。

この一年間、先生方に素直になれず御迷惑をかけたり、ピンチを助けて頂いたことこ
と、何も言わず寄り添ってくれたこともあったでしょう。

どうか、感謝の気持ちを心の中で念じてください。

東京都西部地区の中堅校を自負する、我が校で学んでいる君たちなら、自分の覚悟と、粘り強い努力次第で、将来、夢を掴むことがきっとできると私は確信しています。

今年最後の校長からのメッセージとして、皆さんにエールを送らせて頂きました。

さて、新年、第3学期の始業式は、令和2年1月8日です。
また、元気な顔で会いましょう。それでは、良い年をお迎えください。

以上で、私の話は終わります。

令和元年12月25日（水）
東京都立府中東高等学校長
古 閑 伸 幸